

キャンピングカーユーザーが道の駅に求めるものは、夜間のセキュリティ～「仮眠・休憩」が利用目的のトップになったことの結果がそこに集約～

■ キャンピングカーユーザーが「道の駅」に寄るときの一の目的は仮眠・休憩

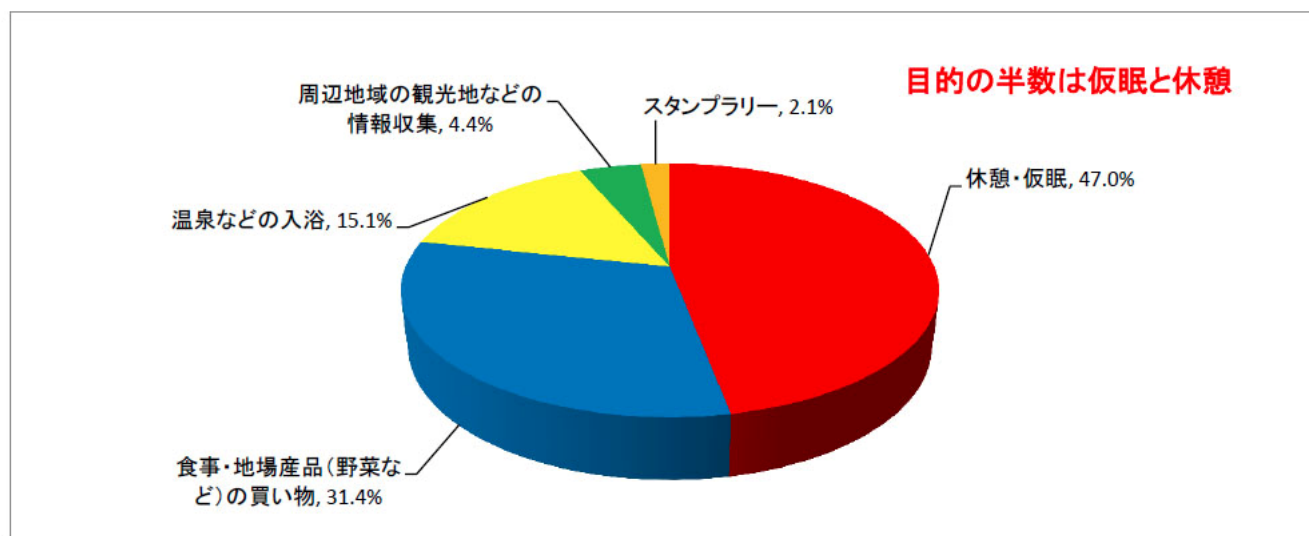
当協会では、この2月18日～3月17日にかけて、「道の駅」をよく利用する400名以上のキャンピングカーユーザーに対し、「道の駅」に寄るときの利用目的や、利用する際に一番気にしていること、また1回の利用における出費額などを尋ねてみました。

その結果、まず利用目的においては、利用者の大半が使う「トイレ」以外の回答として、「休憩・仮眠」という答えがトップに立ち、回答率においても半数に近い47.0%を獲得しました。その次が「食事・地場産品（野菜など）の買い物」で31.4%を示しました。3番目は「温泉などの入浴」（15.1%）となりました。（※図表1）

図表1 「道の駅」を利用する目的のなかで、トイレ以外に最も多いものは何ですか？

[投票期間] 14/02/18 ～ 14/03/17

[投票数] 430票



「仮眠・休憩」がトップを占めたのは、やはりキャンピングカーユーザーには比較的長期旅行を楽しむ人が多く、ひとつの観光エリアに長く滞在する傾向にあることを物語っていそうです。また地場産品の食材を買うのも、冷蔵庫を搭載していることや、車内で調理ができるコンロや電子レンジを備えていることなど、ライフラインを完備したキャンピングカーの特徴を裏付けています。

ちなみに、この1位～3位の回答は、昨年4月に調査したときと同じ順位を維持し、回答率もほぼ同じ数値を示しました。こうしてみると、キャンピングカーユーザーが道の駅に立ち寄る目的は「仮眠と休憩」が中心となり、それに付随して地場産品の食材を買ったり、レストランに寄って食事したりするという傾向が根強いことが分かります。

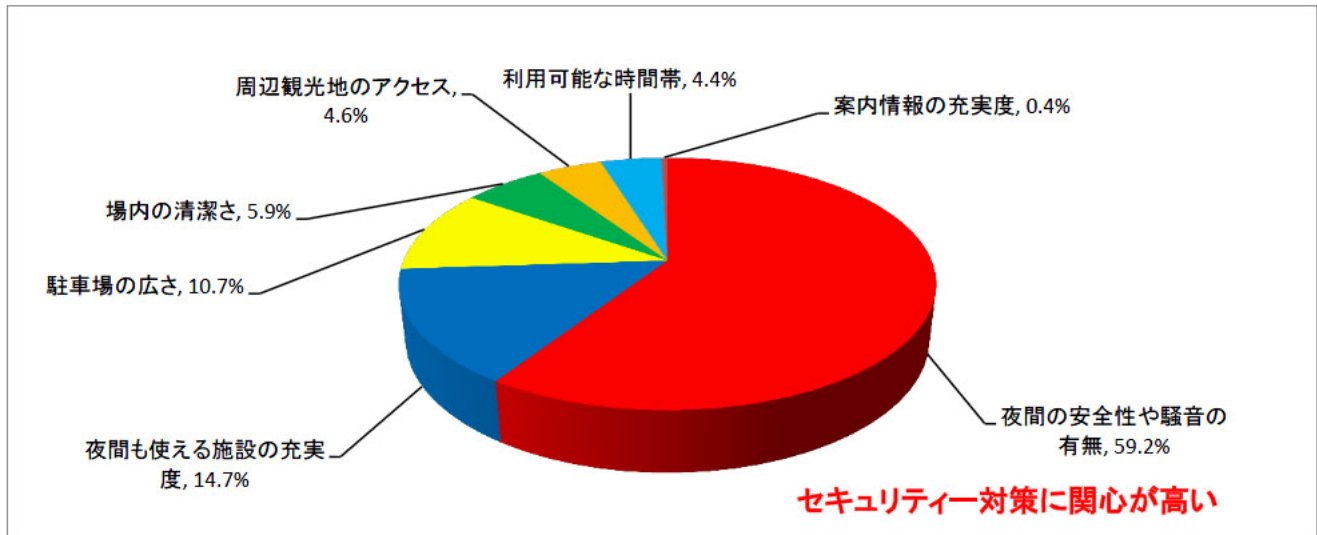
■ 一番気にしていることは、夜間の安全性

キャンピングカーユーザーの最大の利用目的が「仮眠・休憩」であることを反映して、利用時のセキュリティーなどに関心を持つユーザーが増えたことも今回の調査で分かりました。「休息時に最も気になること」を尋ねると、「夜間の安全性や騒音の有無」という答を選んだ人が過半数を超える 60%近くを占め、他の回答を断然引き離しました。(※図表 2)

図表2 キャンピングカーで「道の駅」を利用する際、最も気になるのはどんなことでしょうか？

[投票期間] 14/02/18 ~ 14/03/17

[投票数] 476票



これにより、非常に多くのユーザーが、道の駅の安全・騒音などのセキュリティ対策に関心を寄せていることが分かりました。

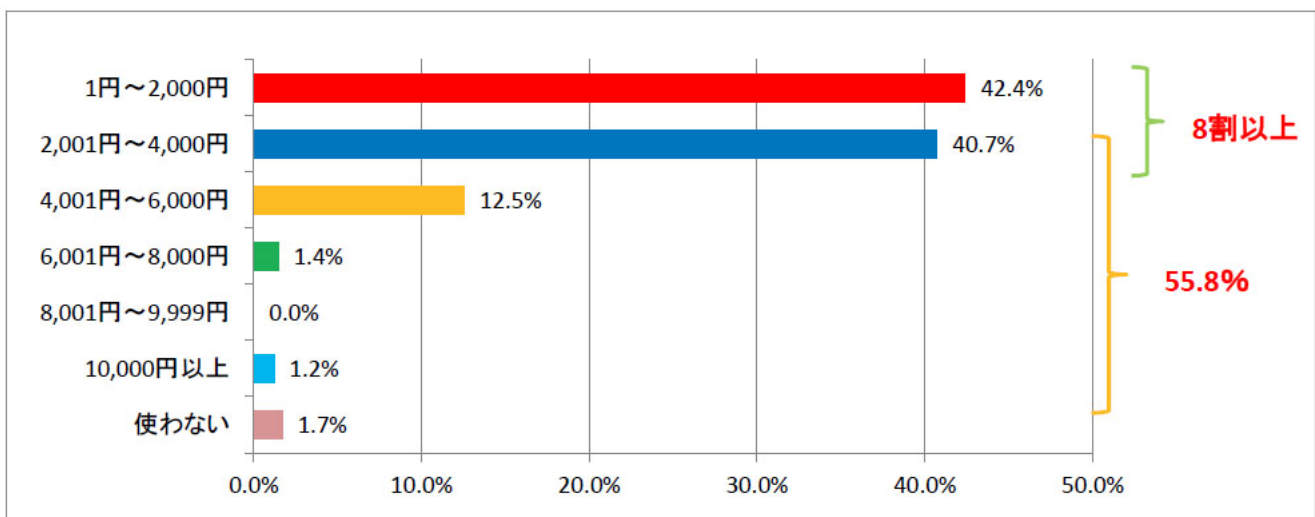
■ 過半数の人が1回立ち寄った道の駅で 2,000 円以上消費

道の駅で食事をしたり、食材の購入をしたりするキャンピングカーユーザーはいったい一つの駅でどのくらいのお金を消費しているのか。これについて調べた所、一番多いのは「1 円～2,000 円」という答で、その回答率は 42.4%。次に多いのが「2,000 円～4,000 円」で、その回答率は 40.7%でした。(※図表 3)

図表3 「道の駅」に入ったとき、家族で食事や食材・お土産代等を購入する金額は1回につきどのくらいでしょうか？

[投票期間] 14/02/18 ~ 14/03/17

[投票数]415票



こうしてみると、1台のキャンピングカーに乗ってきた家族の8割が、一つの道の駅で4,000円以内の額を消費している計算になります。ちなみに4,000円以上の金額を使っているユーザーは15.1%となり、それを足すと、全体の55.8%が2,000円以上を道の駅で消費していることが分かりました。

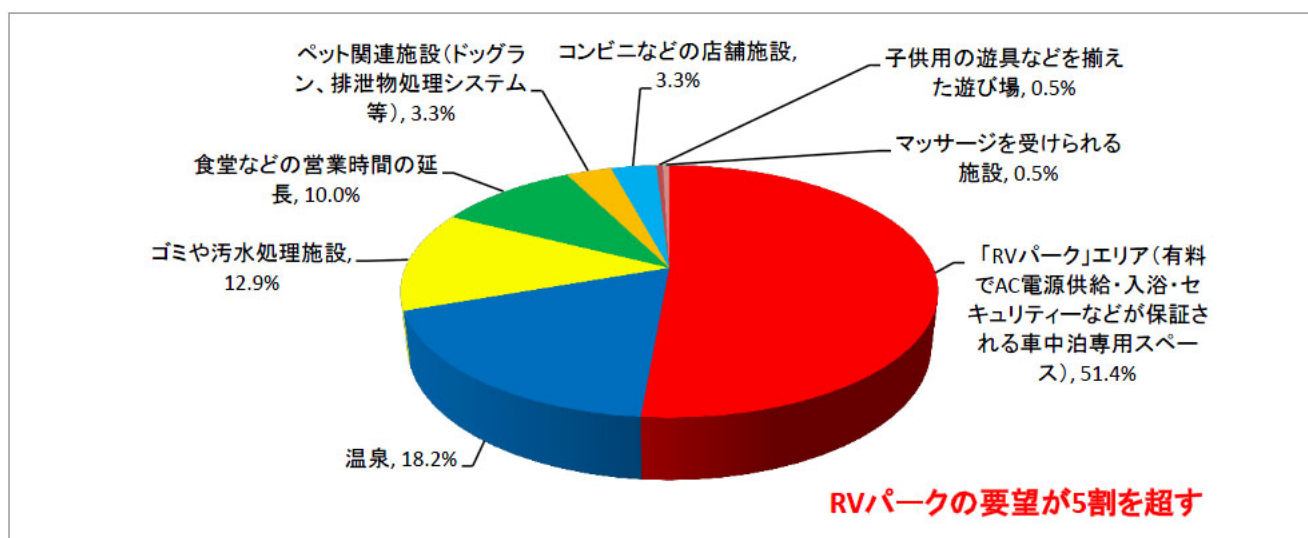
■ RVパークの要望が圧倒的

今後「道の駅」に期待するサービスとして、一番多く寄せられた回答は「RVパーク」エリア（有料でAC電源供給・入浴・セキュリティーなどが保証される車中泊専用スペース）で、その回答率は51.4%となりました。2番目は「温泉」（18.2%）、3番目は「ゴミや汚水処理施設」（12.9%）となりました。（※図表4）

図表4 「道の駅」で提供されるサービスとして、今後どのようなものが加われば良いと思いますか？

[投票期間] 14/02/18 ~ 14/03/17

[投票数]428票



当協会が進めているRVパークには、AC電源の供給はもとより、温泉やゴミ処理機能も条件として付加されますので、RVパークの回答率が高い数値を示したことは、2012年7月末に誕生した同システムがようやく認知されてきたことを証明するものかもしれません。

■ 近日オープンしたRVパークのご紹介

● RVパークあじがうら（茨城）

3/18にオープン。「民宿 満州屋」の宿泊施設内にRVパークがあり、周辺には海水浴場や公園、市場などの施設があるため四季折々の楽しみが味わえる。車で1km、徒歩で近道500mに入浴施設もある。

【利用料金】1泊1,500円（税込）

【住所】茨城県ひたちなか市磯崎町4625-2

● RVパーク犬山ローレライ麦酒館（愛知）

3/29にオープン。パークに隣接して地ビールのブルワリーと直営レストランがあり、東名・名神・中央道の各ICからのアクセスに優れている。近辺に観光施設が充実し、スーパーやホームセンターもある。

【利用料金】1泊2,000円（税込）

【住所】愛知県犬山市大字羽黒字成海郷70番地

● RVパーク南きよさと（山梨）

4/1にオープン。第20号となるRVパーク。清里の玄関口でもある道の駅に隣接した静かで環境の良い場所にあり、ファミリーで1日遊べる。新鮮野菜の直売所もあり、買った食材などはBBQ場で食べられる。また、無料開放のドッグランもある。

【利用料金】1泊1,000円（税込）

【住所】山梨県北杜市高根町長沢760番地

● RVパーク施設一覧⇒ <http://www.kurumatabi.com/rvpark/list.html>

【一般社団法人 日本RV協会】

人と車と自然が一体となった豊かで潤いのある「くるま旅」を提唱し、キャンピングカーライフを日本に根付いた文化として育成・発展させるために、さまざまな活動を行っています。

【本件に関するお問い合わせは】

一般社団法人 日本RV協会（担当）矢久保

[TEL] 042-720-7911 [FAX] 042-720-7251 [Email] info@jrva.com [URL] <http://www.jrva.com/>
